

ウズベキスタンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2023年3月13日（継続）

フェルガナ、ナマンガン及びアンディジャン各州のタジキスタン及びキルギスとの国境沿い山岳地帯（キルギス領に囲まれた飛び地ソフ及びシャヒーマルダンを含む）	〔レベル3〕 「渡航はやめてください。（渡航中止勧告）」（継続） その国・地域への渡航は、どのような目的であれやめてください。
アフガニスタンとの国境付近で警戒が強化され立ち入りが制限されている地域	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続）
上記を除く地域（首都タシケント市を含む）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

- ウズベキスタン政府は、イスラム過激派組織や麻薬の密輸組織等に対する対策の一環として、過去にタジキスタン及びキルギスとの国境沿いの山岳地帯に地雷を埋設しました。地雷の一部が残されていることもあり、非常に危険です。同地域への渡航は止めてください。
- アフガニスタンとの国境沿いの地域の治安情勢は、イスラム過激派組織の勢力が強い隣国アフガニスタンからの影響を受けやすく、不測の事態が発生する可能性があります。ウズベキスタン国境警備隊により警戒が強化され立ち入りが制限されている地域、鉄条網が敷設されている地域への不要不急の渡航は止めてください。
- その他の地域の治安情勢は比較的平穏で安定していますが、過去には凶悪事件等も発生し、近年でも、経済的困窮を起因とする犯罪も発生しており、また世界各地でソフトターゲットを狙ったテロ事件が頻発していることあるので、平素から高い防犯意識を保ち、十分注意してください。

【概況】

- (1) タジキスタン及びキルギスとの国境沿い山岳地帯では、イスラム過激派組織や反政府組織等に対する治安対策の一環として、ウズベキスタン政府が多数の地雷を埋設した経緯があります。未だ埋設地雷の除去作業は完了していないため、これらの山岳地帯に立ち入ることは非常に危険です。
- (2) 隣国であるアフガニスタン国内では2021年8月15日にタリバーンが首都カブールを制圧し、以降も「イラク・レバントのイスラム国（ISIL）ホラサーン州」によるテロが多発する等、情勢及び治安は極めて不安定かつ危険です。アフガニスタン国内情勢の変化に伴い、不測の事態が発生する可能性があります。ウズベキスタン国境警備隊により警戒が強化され立ち入りが制限されている地域への不要不急の渡航は止めてください。
- (3) ウズベキスタンでは、国内の治安は平穏状態を保っており、近年、テロ事件は発生していません。これまでに、ウズベキスタンにおいてテロによる日本人の被害は確認されていませんが、テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。
また、単独犯によるローンウルフ型テロや、一般市民が多く集まるレストラン、ショッピングモール、公共交通機関等のソフトターゲットを標的としたテロが世界各地で頻発しており、こうしたテロの発生を未然に防ぐことは困難です。
テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。
ウズベキスタンはアフガニスタンなどイスラム過激派組織の活動が活発な地域に隣接していることから、周辺地域を含めた情勢を十分に把握し、安全に配慮した計画を立てる等、十分な注意が必要です。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。